

.....
殿

屋内配線用ユニットケーブル

[記号：HS&Tユニットケーブル]

住電日立ケーブル株式会社

管理本部 技術部

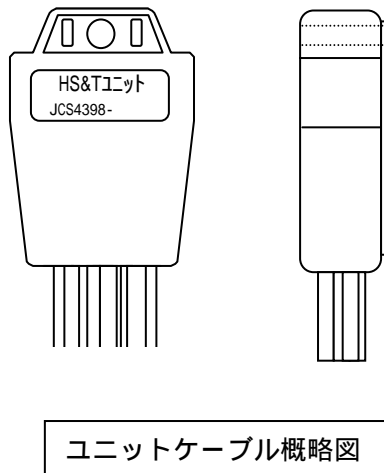
1. 適用範囲

本仕様書は、600V以下の低圧屋内配線のうち、分岐過電流遮断器より負荷および配線器具に至るまでの分岐回路に使用する屋内配線用ユニットケーブル（HS&Tユニットケーブル）に適用する。

準拠規格および関連規格

- 1) 日本電線工業会規格（JCS第4398号 最新版）
- 2) 日本工業規格（JIS）
- 3) 電気設備に関する技術基準を定める省令
- 4) その他関連法令及び規格

2. 外観略図



ユニットケーブル概略図

3. 仕様

1) ケーブル

ケーブルは原則として、JIS C 3342 で規定するVVFケーブルの2心もしくは3心を使用する。

導体サイズは原則として、1.6mmもしくは2.0mmを使用する。

ケーブルシース色はアイボリーとする。

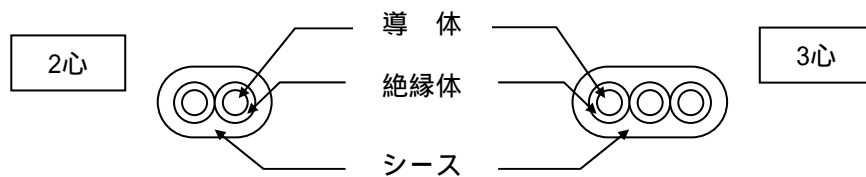


表-1 ケーブル概要

種類	導体直径 [mm]	絶縁体厚さ [mm]	シース厚さ [mm]	仕上外径 (約) [mm]	最大導体抵抗 (20) [/km]	試験電圧 [V/1分]	最小絶縁抵抗 (20) [M km]	概算質量 [kg/km]
2心	1.6	0.8	1.5	6.2×9.4	8.92	1,500	50	100
	2.0	0.8	1.5	6.6×10.5	5.65	1,500	50	130
3心	1.6	0.8	1.5	6.2×13.5	8.92	1,500	50	145
	2.0	0.8	1.5	6.6×14.0	5.65	1,500	50	185
	注) 2.0+1.6	0.8	1.5	6.6×13.4	5.65/8.92	1,500	50	165

注) (1) 複合導体は、接地線（緑線芯）を含む3心ケーブルの場合に、電源線：2.0mm-2c + 接地線：1.6mm を適用します。

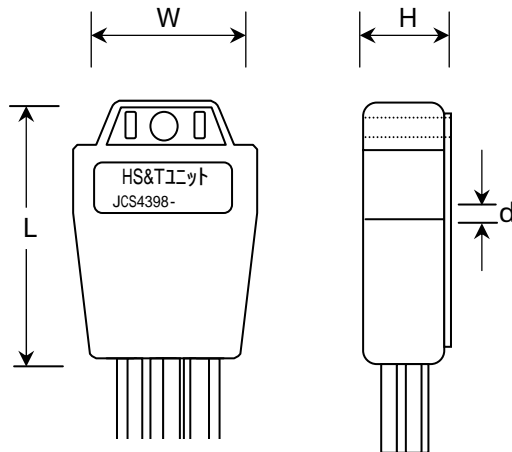
(2) 複合導体は、JIS規格(JIS C3342)対象外のためJIS表示はありません。

- 2) 回路構成
結線図等をもとに、電気回路および配線器具の動作が正常に機能するよう回路構成を行う。
- 3) 結線
ケーブルの接続は、J I S C 2806 の性能を有するリングスリーブを用い接続し、結線部に特殊耐熱ビニルキャップで絶縁処理を施す。
- 4) モールド部
結線部はまとめてビニル樹脂によるモールド処理を行う。ビニルモールドの被覆厚さは、VVFケーブルの「絶縁体厚さ」と「シース厚さ」を合算した厚さ以上とする。
モールド用ビニルの色はアイボリーとする。
- 5) モールド部寸法
モールド部は、VVFケーブルのサイズ・本数により S 型，L 型，K 型の3種類を使用する。

表-2 モールド部寸法

種類	モールド部寸法 (約mm)				最大分岐本数 (本)
	W	L	H	d	
S 型	70	130	35	11	12
L 型	100	130	40	11	20
K 型	140	130	40	11	30

(注) 最大分岐本数は使用するケーブルの種類により異なります。



S・L・K型

6) 識別表示

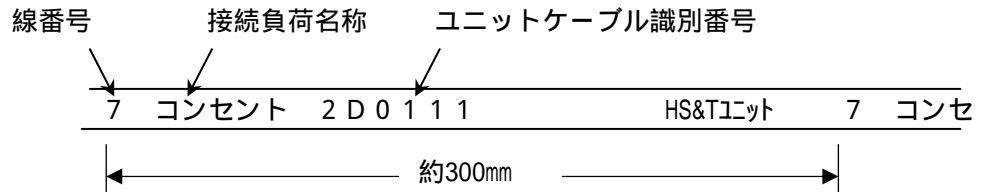
回路識別および施工のしやすさを考慮し、ユニットケーブルには以下のような表示を施す。

モールド部への表示

モールド部には、ユニットケーブル識別番号・部屋タイプ名および、日本電線工業会「屋内配線用ユニットケーブルに関する認定基準」により取得した型式認定番号を表示する。

ケーブルへの行先表示

ケーブルの片面には、線番号，接続負荷名称，ユニットケーブル識別番号及び「HS&Tユニット」の文字を約300mm間隔で繰り返し表示する。



ケーブルへのカラーライン表示

ケーブルの両面には、接続器具に対応したカラーラインを表示する。

表-3 カラーライン

接続器具	電源 (分電盤)	スイッチ	スイッチ対応の負荷	コンセント等
カラーライン色	赤	青	黄	なし

4. 使用電圧

交流の600V以下とする。

5. 特性

J C S 第4398号 5.特性を満足する。

6. 完成品検査

完成品検査は以下の項目について実施する。

表-4 完成品検査

項目	良否判定基準
外観	使用上、有害なきず・汚れ等がなく、異状のないこと。
回路	断線がなく、電源・スイッチ-負荷・コンセント回路等が正常であること。
耐電圧 (空中)	AC3,000Vの試験電圧に1分間耐えること。
絶縁抵抗 (空中)	200M 自身長以上あること。

7. 荷造り

荷姿

原則としてポリエチレン袋に納め、粘着テープにて封をする。

表示

以下の内容をダンボールまたはポリエチレン袋の見やすい箇所に、適切な方法で記載する。

- 1) 社名
- 2) 件名
- 3) 内容明細
- 4) 数量
- 5) 送付先